

2025 年 4 月 20 日

Virtus Swimming World Championships
日本代表推薦選手推薦方針と選考基準について

(一社) 日本知的障害者水泳連盟

選考方針

標記大会への日本代表選手の選考にあたっては、標記大会への参加基準を満たすものであり、個人種目においてメダル獲得または入賞の可能性のある選手を選考する。また、ロス 2028、ブリスベン 2032 など今後のパラリンピックを見据え、次世代を担う若手選手の育成の機会としても位置づける。

なお、選考（方法）については、2025 国際大会日本代表選手選考委員会（以下「選考委員会」という）を設け、これが 5 月下旬に推薦選手を選考した後、日本知的障害者水泳連盟の常務理事会等の承認を経て決定する。

1. 推薦選考基準

- (1) 2025 年 Virtus 国際ライセンス登録が申請中もしくは済んでいること
- (2) 2024 年度の WPS 公認大会にて最低資格基準(MQS)を突破していること
- (3) 遠征において医学的観点から支障のない者
- (4) 当連盟の国際大会強化指定選手選考規定に基づき社会規範や連盟の行動規範を遵守できる者

2. 知的障がい選手・ダウン症選手選考

- (1) 2024 年度に実施された、WPS 公認長水路大会にて、別途連盟が定める「推薦基準記録」を突破した選手を選考対象とする。
- (2) 選考枠は知的障がい選手 12、ダウン症選手 6 とする。
- (3) (1) で選考対象となった選手に優先順位をつける。優先順位は推薦基準記録の到達率の高い選手から順に順位づけをする。
- (4) (1) の選手の中で同順位であった場合、2 種目目以降の推薦基準記録の到達率が高い選手から順位づけをする。
- (5) 優先順位の中で、各カテゴリー上位から派遣人数枠合計 18 名までが推薦選手となる。

3. 知的障がい次世代選手選考

- (1) 次世代選手とは、上記 2 に該当しなかった 20 歳以下（2025 年 3 月 31 日時点）の者とする。
- (2) 2024 年度に実施された、下記の WPS 公認長水路大会にて選考する。

- (3) 選考枠は5とする。
- (4) (1) で選考対象となった選手に優先順位をつける。優先順位は推薦基準記録の到達率の高い選手から順に順位づけをする。
- (4) (1) の選手の中で同順位であった場合、2 種目目以降の推薦基準記録の到達率が高い選手から順位づけをする。
- (5) 優先順位の中で、上位から派遣人数枠 5 名までが推薦選手となる。
4. 2 (5) および 3 (5) に該当する選手の国際ライセンスが申請中の場合は「保留扱い」とし、2025 年 6 月 9 までに国際ライセンス申請を提出し、参加要件を満たした場合は推薦選手となる。
5. 日本知的障害者水泳連盟の常務理事会等の承認を経て決定した選手は、連盟ホームページにて発表する。
6. 上記に該当しない事案が発生した場合は、選手選考委員会にて検討する。

以上

(別表)

派遣基準記録

EVENT	知的男子	知的女子	ダウン男子	ダウン女子
50m 自由形	25.26	29.99	34.52	42.17
100m 自由形	55.52	1:04.94	1:19.94	1:38.96
200m 自由形	2:01.25	2:20.99	3:02.96	3:31.77
400m 自由形	4:23.36	5:02.38	—	—
800m 自由形	9:13.85	10:50.64	—	—
1500m 自由形	17:47.74	—	—	—
50m 背泳ぎ	29.52	35.76	42.30	52.36
100m 背泳ぎ	1:03.81	1:16.28	1:35.52	1:56.40
200m 背泳ぎ	2:29.39	2:48.65	3:29.69	4:10.66
50m 平泳ぎ	32.53	39.28	46.06	53.87
100m 平泳ぎ	1:11.74	1:24.54	1:38.71	2:01.66
200m 平泳ぎ	2:37.25	3:02.58	3:55.82	4:15.39
50m バタフライ	26.64	32.44	35.77	50.23
100m バタフライ	58.89	1:13.28	1:38.71	2:04.50
200m バタフライ	2:14.83	3:04.67	3:24.57	4:21.95
200m 個人メドレー	2:18.56	2:41.69	3:19.57	4:05.37
400m 個人メドレー	4:58.71	6:05.69	—	—